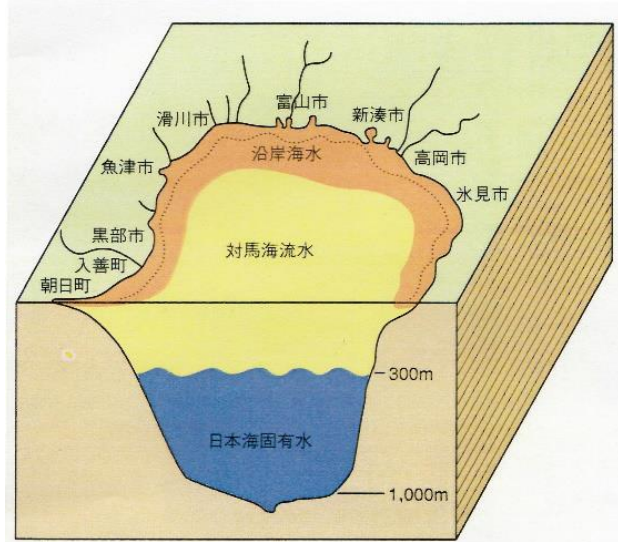


富山湾について

富山湾は、「天然のいけす」といわれています。沿岸から急に深くなって海底には多くの谷が入り組んだ「あいがめ」といわれる海底谷があり、魚介類のよすみかになっています。3,000m級の立山連峰から流れる水が、豊富な栄養分を運び、生き物がよく育ちます。また、漁場から港までの距離が近く、すぐにとった魚を運べるため、新鮮です。富山湾には、1,000mの深い海底谷があるため、暖流系の魚だけでなく、深層には冷水系の魚があり、日本海に生息する800種類の魚介類のうち、500種類がすむといわれ、多種多様な魚がとれます。



富山湾の海水の構造図

- 多くの河川水の影響を受けた沿岸海水
- 200～300mの厚みを持って流れこむ対馬海流水
- 300m以深の日本海固有水（深層水）

高低差 1200mにすむ魚たち

